

■小学校世界遺産学習フィールドワーク

藤井寺市教育委員会は市内の全小学校 6 年生を対象に世界遺産学習を実施しています。今年4月28日から約一か月半、雨天中止になった1校を除く、6校500名余りの児童が参加しました。

当会も郊外学習（フィールドワーク）の定点説明のお手伝いをし、私は今回「応神天皇陵古墳」を担当しました。

隣接する羽曳野市にありながら、来たのは初めてという子供たちも少なくありません。古墳の大きさなどを説明すると、熱心にメモをとり始めました。資料のレーザー図に六角形のお堂や階段の跡を見つけると、「今もあるの?」「古墳の中に入ってみたいわ」など興味津々。国宝の鞍金具の復元写真では、「きれいなあ」「すごいものがあつたんや」と驚きの声が上がりました。

藤井寺市に住む子供たちにとっては、古墳はそこにあるもの、見慣れた日常の風景です。この世界遺産学習をすることで、身近なものの中に宝物を発見したのではないのでしょうか。

どんなに小さな古墳でも、そこには、先人の英知がいっぱい詰まっています。私たちの祖先が残した歴史と文化を大切に思う気持ちを、これからも持ち続けてほしいと思いました。

(2017/6 小田島)



応神天皇陵古墳